

稲沢市  
一色城跡  
発掘調査通信

## 第2号 一色城跡の空撮を行いました

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団  
愛知県埋蔵文化財センター  
株式会社 島田組

残暑お見舞い申し上げます。8月の前半は、連日の猛暑とお盆に台風10号の上陸がありましたが、発掘調査を進めることができました。この間の8月9日（金）には、遺構や調査区周辺の状況を、ラジコンヘリによって空中から撮影を行いました（空撮といいます）。

調査区（19A区）では、南北にのびる溝が見つかりました。その数は8条あってほぼ平行に並んでいます。江戸時代の陶器が出土するので、西島村の地割と考えられます。また今回の発掘調査範囲は、ちょうど江戸時代の西島村と片原一色村の村境になる地点で、特に19A区の西部は堀割り状にくぼんだ地形となっていることも判明しました。

ところで、江戸時代後期に作られた片原一色村の村絵図によると、「西嶋村境」付近の「大日如来宮」北側に「字古城跡」とあります。このことから、一色城跡が神明社北側の一帯に想定されています。今後、村境から南側で城跡に関係する遺構が見つかるかどうか注目されます。



図1 一色城跡とその発掘調査区全景（南西上空から）